



地域めぐり

HABU TSUBUTA

★ 地域と学生プロジェクト ★

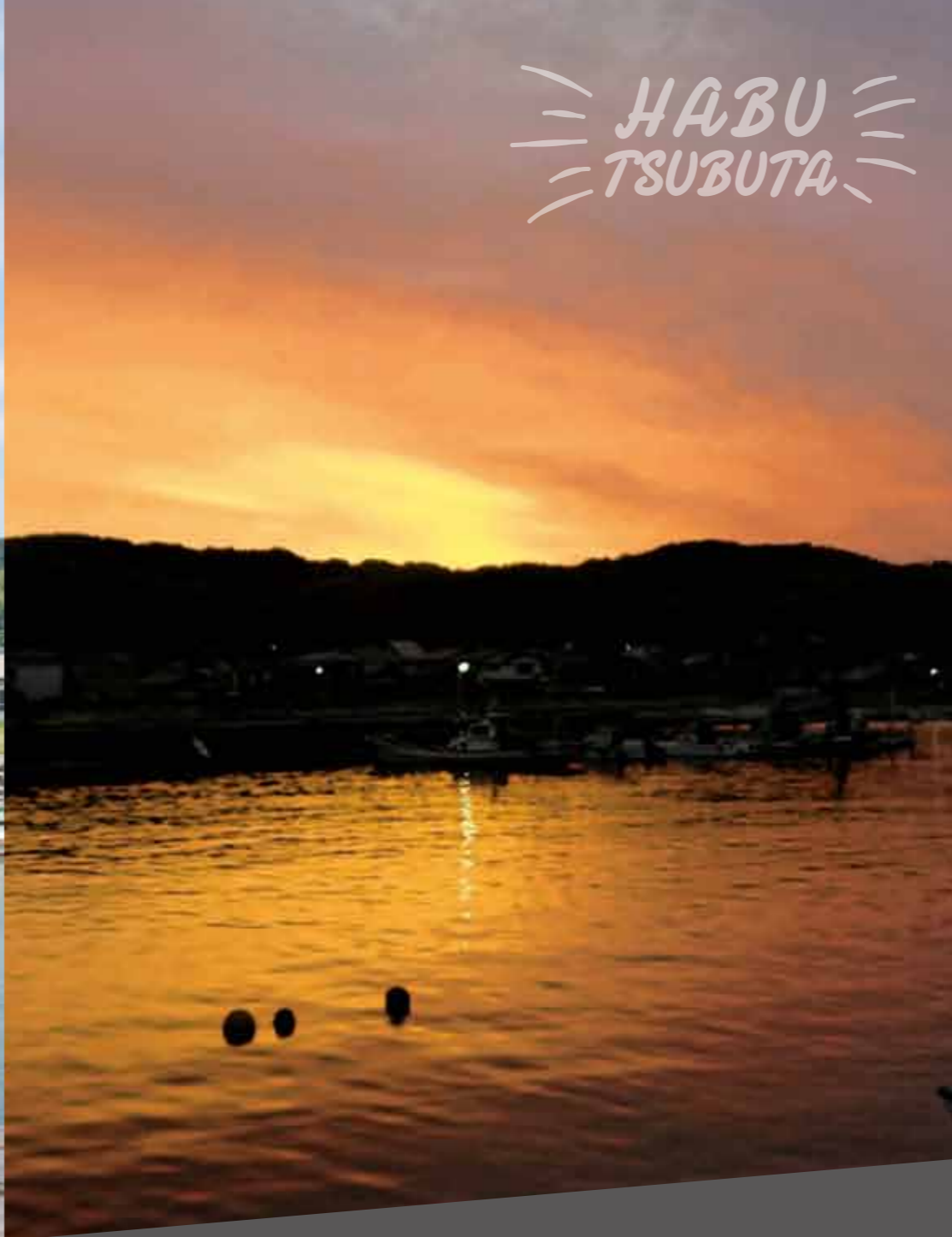
HABU TSUBUTA



料拱

糸根神社

応神天皇、神功皇后、三女神(さんじょしん)、素戔鳴尊(すさのみこと)、稲田姫命(いなだひめのみこと)を主祭神とする神社です。神社の西側にある鳥居の側には、「右下之関(みぎしものせき)」と書かれた道標があります。かつては標識から北側に向かうと下関への山陽道が続き、南側には海があり、下関や大分に渡る港がありました。豊臣秀吉が九州出陣の途中で宿泊したとの記録もあります。糸根神社には三つの鳥居があります。海側の鳥居は港からの入口、西側のそれは山陽道の入口、北側は埴生の人たちの入口です。糸根神社の軒先には、竜のしっぽに見えるものが付随した珍しい料拱(ときょう)があります。いにしへの道標や三つの鳥居、珍しい料拱を見つけてみて下さい。



糸根公園内にある赤兼山

糸根の松原

本州最西端のクロマツ林です。樹高20m、樹齢約200年のクロマツもあります。和泉式部が流浪の末に、埴生で娘の小式部を生み、いとおしく思っ添い寝をしたとの伝説から、「愛寝(いとしね)の松原」と呼ばれ、それが「阿子寝(あこね)の松原」になり、さらになまって「糸根の松原」となると言われています。今でも地名の字は「赤子寝」です。現在は海側に干拓地が広がっていますが、かつては風光明媚な景色が広がり、松原は防風林として人の暮らしを守っていました。糸根の松原がある糸根地区公園には、無料のキャンプ場や子ども向けの遊具、運動場もあります。日本で二番目に低い山として新聞にも取り上げられた、標高3.3mの「赤兼山(あかかねやま)」もあります。公園内にありますので探してはいかがでしょうか。



発行：埴生・津布田PR実行委員会 企画：埴生てる
制作：公立大学法人 山陽小野田市立山口東京理科大学 学生有志

参考資料：郷土史家の河崎平男さん、糸根神社の宮司・畑野紀子さんに情報提供頂きました。山陽小野田市役所のホームページも参考にしました。